

もっと、あなたらしさが輝く場所へ 進化する ミSSION スタイル

英語力も音楽やスポーツと同じ。
「くり返し続けること」が基本です。



今春、3コース制から2コース制へと移行した北陸学院高校(ミSSION)。今号では、特別進学コース(1年次)の担任を務める英語教諭に、定評ある英語教育と大学入試との関連性、また入学初年度からスタートする「進路指導」についても聞いた。

リレートーク2012 Vol.5

北陸学院高等学校 英語科教諭

中村嘉寛

なかむら よしひろ

Profile

1975年生まれ。東京都出身。獨協大学外国語学部英語学科卒。埼玉県内の県立高校で英語科教諭として勤務した後、京都の出版社に入社し、教科書等の編集に携わる。2009年より北陸学院高校の教壇に。現在、1~3年生に英語を教えながら、1年生の特別進学コース担任および吹奏楽部の顧問を務める。

「留学経験」を入試に生かす

本校は全国規模の英語スピーチ大会で毎年のように入賞者を輩出しており、そもその創設者がアメリカ人宣教師であることも相まって、「英語に強い高校」として広く認知されています。

この強さの裏付けについては、長年培ってきたカリキュラムの充実に加え、本校独自のプログラムを利用した留学経験者の多さが挙げられるように思います。

短期・長期を問わず、留学を通じて精神的にたくましく成長して帰国する生徒たちには頼もしさを覚えますし、クラスに複数の留学経験者がいることで、全体の意識向上やレベルアップにもつながっています。

経験者自身も、帰国後に英語検定の資格を取得したり、受験者の資質を問うAO入試にその体験を役立てるなど、大学入試を含む自身のステップアップに際して、上手にその経験を生かしているように思います。

「くり返し続けること」の大切さ

当り前のことですが、私たちにとって英語は「外国語」です。ですから、英語力を身に付けるには、まず「単語や文法を覚える」ことが基本になってきます。くり返し学ぶことが、結局のところ一番の近道なんです。具体的には、定期的に行われる単語テストを通じて単語の基礎学力を積み上げ、教科書を何度も読み返すことで文法を理解するように、こちらもくり返し指導します。

野球なら素振りをくり返すのと同様、何度もくり返すことで身に付けた確固たる基礎が、会話によるコミュニケーション能力や読解力の定着を確かなものにします。

留学生の受け入れなど、本校は日常的に英語にふれる機会も多く、学習には最適な環境下にあり、から、ぜひここでの3年間でその楽しさを知り、世界を広げていてほしいと思います。

少人数制が可能にする 細やかな進路指導

高校時代というのは、自分の将来についてひたすら模索する時期なのではないでしょうか？ですから、

卒業後の進路については、「思い描いた人生を歩むために、いま何を学ぶべきか」を基準に選んでほしいと思います。

「卒業後」とまで言わなくても、2年次にはもう文系に進むか、理系に進むかを決めなければなりません。今年度は1年生の担任をしています。生徒たちには入学直後から「将来何をしたいのか」を聞いて、まだ白紙の生徒には「いまから一緒に考えていこう」と、将来についての思考を促します。

本校の教育方針である「勉強プラスもうひとつ」を実践しつつ、余裕をもって大学受験に臨むためにも、早い段階で将来を意識することはとても大切なことです。

進路指導体制ということで言えば、本校は少人数制であり、複数の教師が生徒一人ひとりの性格や学力、希望の進路等を多面的に把握することができ、当然ながら高いハードルを自力で乗り越えられる生徒もいれば、丁寧なサポートを必要とする生徒もいます。生徒個々の希望や適性に合わせた、いわばオーダーメイドの進路指導を行うことで、これからの生徒一人ひとりに、学校全体で最適な選択肢を提示していきたいと思っています。

【コース紹介】 あなたがより輝けるコースは？

特別進学コース 【文系・理系】 難関国公立大学への進学を目指す	確かなサポート体制で、推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。コース定員の拡充により、同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦の利用枠が拡大され、進学の実績がぐっと広がりました。	【主な進路イメージ】 ● 難関国公立大学 同志社大学・ 関西学院大学・ 金沢大学 など
総合進学コース 【文系】 「推薦枠」の利用を基本に、多彩な進路に対応	主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。全国のおよそ100大学に500名近い推薦枠を有し、北陸学院大学への特別推薦枠もあります。今回のコース再編により、幅広い進路の選択が可能となりました。	● 4年制大学・ 短期大学・ 専門学校 など ● 北陸学院大学への 特別推薦枠

*2年生への進級時にコース変更が可能です。 *2コースとも習熟度に応じたクラス編成となります。

2012年度の大学入試結果から 合格実績で見るミッション

一般入試の受験者が増えたことや、一般進学コース(今年度より総合進学コースに改組)からも有名私立大の合格者を多数輩出するなど、教育方針「勉強プラスもうひとつ」による充実した高校生活が、生徒の学習意欲の向上につながっています。

卒業生の合格実績 ※人数はすべて「のべ人数」

すべて現役合格!!

■特別進学コース[文系・理系]

国公立大学	愛知教育大(教育)、金沢大(医薬保健、理工)2名、信州大(工)、富山大(工)
私立大学	学習院大(文)、金沢学院大(経営情報)2名、金沢工業大(情報フロンティア)2名、金沢星稜大(経済)、関西学院大(文、法)4名、京都外国語大(外国語)2名、京都産業大(外国語)3名、京都造形芸術大(美術)、近畿大(総合社会)2名、神戸女学院大(文)、同志社大(社会、心理、政策、文、文化情報)6名、北陸学院大(人間総合)、立教大(文)

■英理進学コース[文系・理系]

国公立大学	金沢大(人間社会)、筑波大(社会・国際)
私立大学	愛知学院大(法)、愛知大(地域政策)、青山学院大(総合文化政策)、活水女子大(健康生活)、金沢学院大(文)、金沢工業大(環境・建築、バイオ化学)2名、金沢星稜大(経済)2名、関西学院大(神、教育、経済、国際、総合政策、人間福祉)6名、京都産業大(法)、金城学院大(文)2名、甲南大(マネジメント創造)、神戸女学院大(人間科学、文)2名、国際基督教大(教養)、玉川大(教育、経営)2名、中部大(国際関係)、東海大(文)、東京女子大(現代教養)2名、同志社女子大(表象文化)、同志社大(文)、東邦音楽大(音楽)、奈良大(文)、阪南大(流通)、フェリス学院大(国際交流、文)3名、佛教大(社会)、北陸学院大(人間総合)9名、北陸大(未来創造、薬)2名、松本歯科大(歯)、桃山学院大(経済)、立命館大(国際関係、文)2名、立命館アジア太平洋大(アジア太平洋)、龍谷大(国際文化、文)3名、ルーテル学院大(総合人間)
短期大学	富山福祉短大、北陸学院大学短期大学部2名、武庫川女子大学短期大学部

■一般進学コース[文系のみ]

私立大学	大阪学院大(経済)、大阪産業大(経営)、金沢工業大(工、情報フロンティア)3名、関東学院大(経済)2名、京都精華大(人文)、京都橘大(文)、京都ノートルダム女子大(心理)、皇学館大(文)、神戸松蔭女子学院大(人間科学)、大東文化大(文)、同志社女子大(表象文化)、名古屋学院大(外国語)、文京学院大(保健医療技術)、法政大(法)、北陸学院大(人間総合)8名、武庫川女子大(文)、明治学院大(文、法)2名
短期大学	青山学院女子短大、京都光華女子大学短期大学部、金城大学短期大学部、帝京短大、富山福祉短大2名、北陸学院大学短期大学部14名、立教女学院短大

※上記一覧は2011年度卒業生の合格実績です。本年度入学者より「特別進学コース」「総合進学コース」の2コース制を実施。



本校は同志社大に13名、関西学院大に11名の推薦枠を有しています。実際、2012年度も特別進学コース18名のうち同志社大に7名、関西学院大に10名の合格者を輩出。本年度の2コース化により、推薦対象者の枠がさらに大きく広がります。

※2012年度入試の実績であり、今後変更になる場合がございます。

「勉強プラスもうひとつ」で、
憧れの同志社大・関西学院大へ

本校の2012年度の大学・短大・専修・各種学校への進学率は91%。うち、大学への進学率は72%(短大含む)です。4年制大学だけを見ると、2005年度には26.7%だった進学率が54%へと数年で急伸びしています。

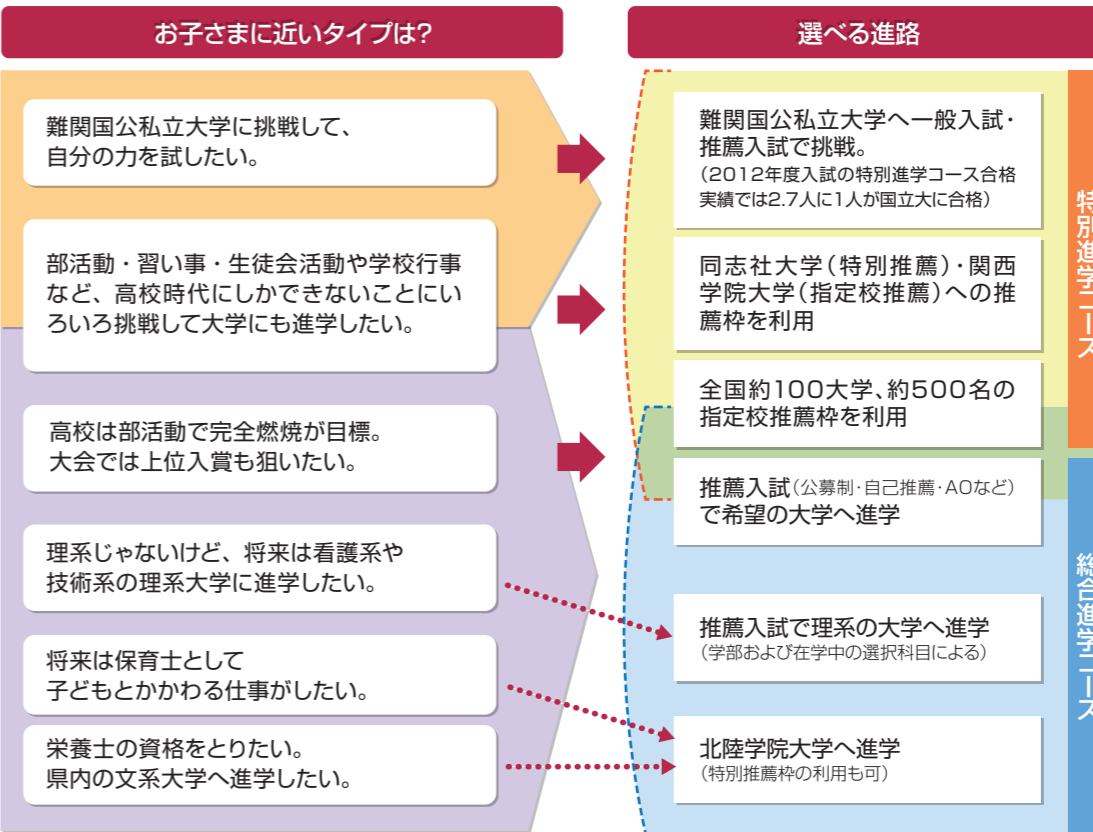
定着しつつある「高い大学進学率」

2012年度入試の進路傾向から 数字で見るミッション



進路イメージ

推薦に強いミッションなら進学も安心



学校・入試説明会のお知らせ

北陸学院高等学校[3年制]

11月17日(土)	学校・入試説明会①
11月23日(金・祝)	学校・入試説明会②
12月1日(土)	学校・入試説明会③

北陸学院中学校・高等学校[6年制]

9月22日(土・祝)	第2回学校説明会
11月10日(土)	入試問題解説会



●詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

中学生のお子さまをもつ保護者の方へ

推薦入試でも公立高校との併願受験が可能

本校の推薦入試は公立高校との併願受験が可能です。さらに、所定の要件を満たす推薦入試での入学者は、初年度の授業料が無料となる「進学サポート奨学金制度」が利用できます。

※進学サポート奨学金の要件等の詳細についてはお問い合わせください。



※現在の内容は2012年度のものであり、今後変更になる場合がございます。